

製品名: STAT1 α ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21600**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:500-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:87kD;Observed MW:90kD

抗原情報

遺伝子名	STAT1
別名	Signal transducer and activator of transcription 1-alpha/beta;Transcription factor ISGF-3 components p91/p84;
遺伝子 ID	6772.0
SwissProt ID	P42224
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

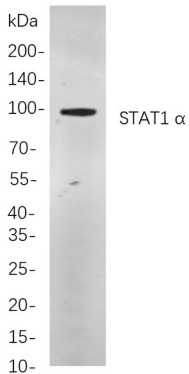
細胞局在: 核シグナル伝達性転写活性化因子 1 (STAT1) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、STAT タン

パク質ファミリーのメンバーです。サイトカインや増殖因子に反応して、STATファミリーのメンバーは受容体関連キナーゼによってリン酸化され、ホモ二量体またはヘテロ二量体を形成して細胞核に移行し、そこで転写活性化因子として作用します。このタンパク質は、インターフェロン α 、インターフェロン γ 、EGF、PDGF、IL6など、様々なリガンドによって活性化されます。このタンパク質は様々な遺伝子の発現を媒介し、様々な細胞刺激や病原体に対する細胞生存に重要であると考えられています。異なるアイソフォームをコードする2つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008年7月]

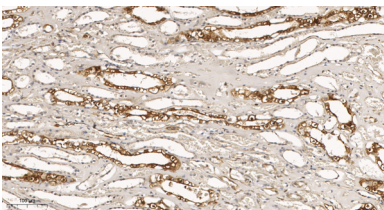
研究分野

-

画像データ



A549細胞のライセートのウェスタンブロット解析。STAT1 α ウサギ mAb を用いた。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト腎臓組織の免疫組織化学分析。1、STAT1 α ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈した (4 $^{\circ}$ C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用した (>98 $^{\circ}$ C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。